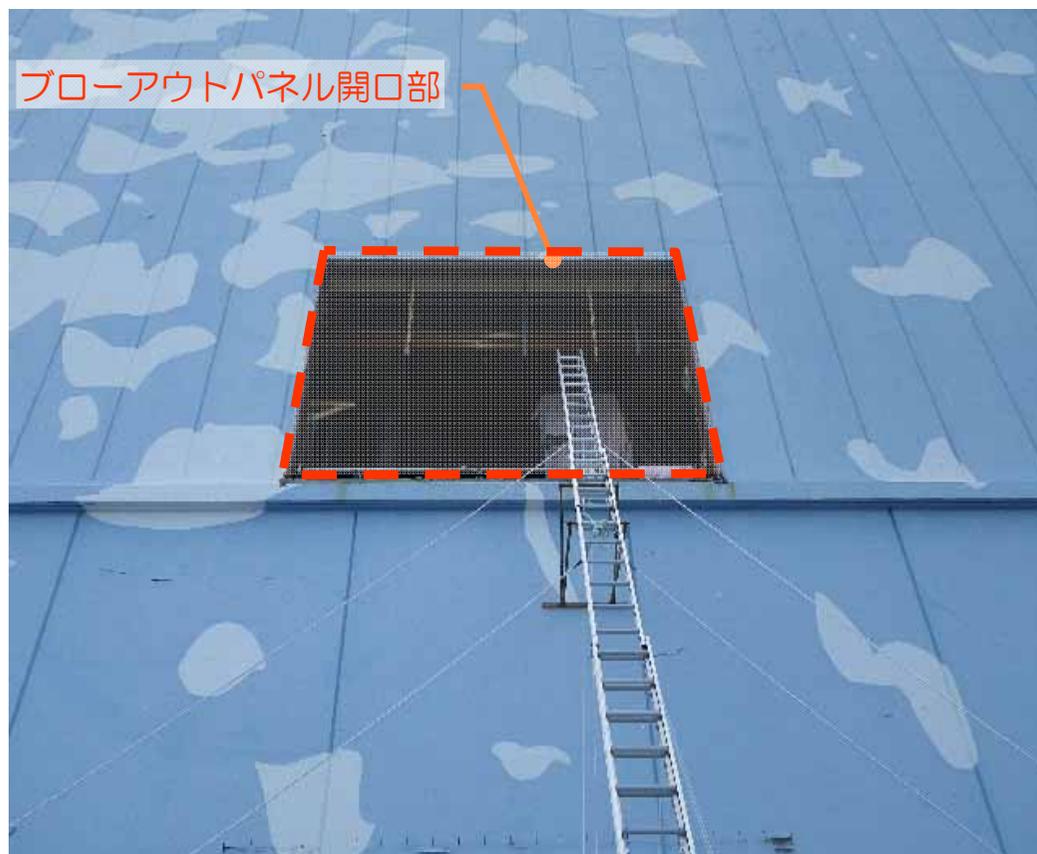


隙間面積（開口面積）を低減することによって放射性物質の放出を低減するために、平成24年12月上旬から、2号機原子炉建屋ブローアウトパネル開口部閉止パネル設置工事に着手し、平成24年度末に、閉止パネルを閉じる作業を実施することとしていました*。

*：「福島第一原子力発電所第1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に係る報告書」の変更内容について（平成24年11月30日）



ブローアウトパネル開口部

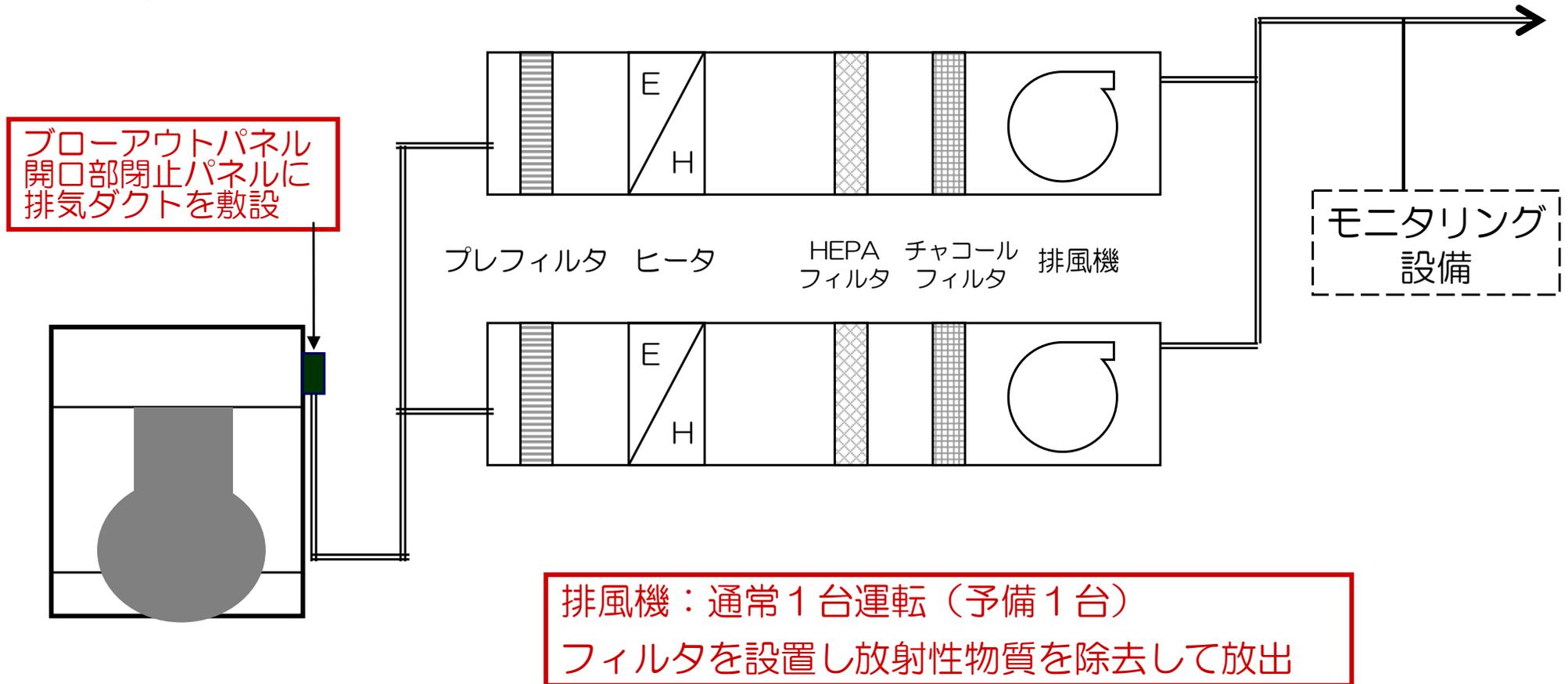


閉止パネル架台

○ 排気設備について

ブローアウトパネル開口部閉止に伴い建屋内の環境悪化が予想され、今後の使用済燃料取り出し作業等のため、作業環境改善を目的として、排気設備を設置しました。

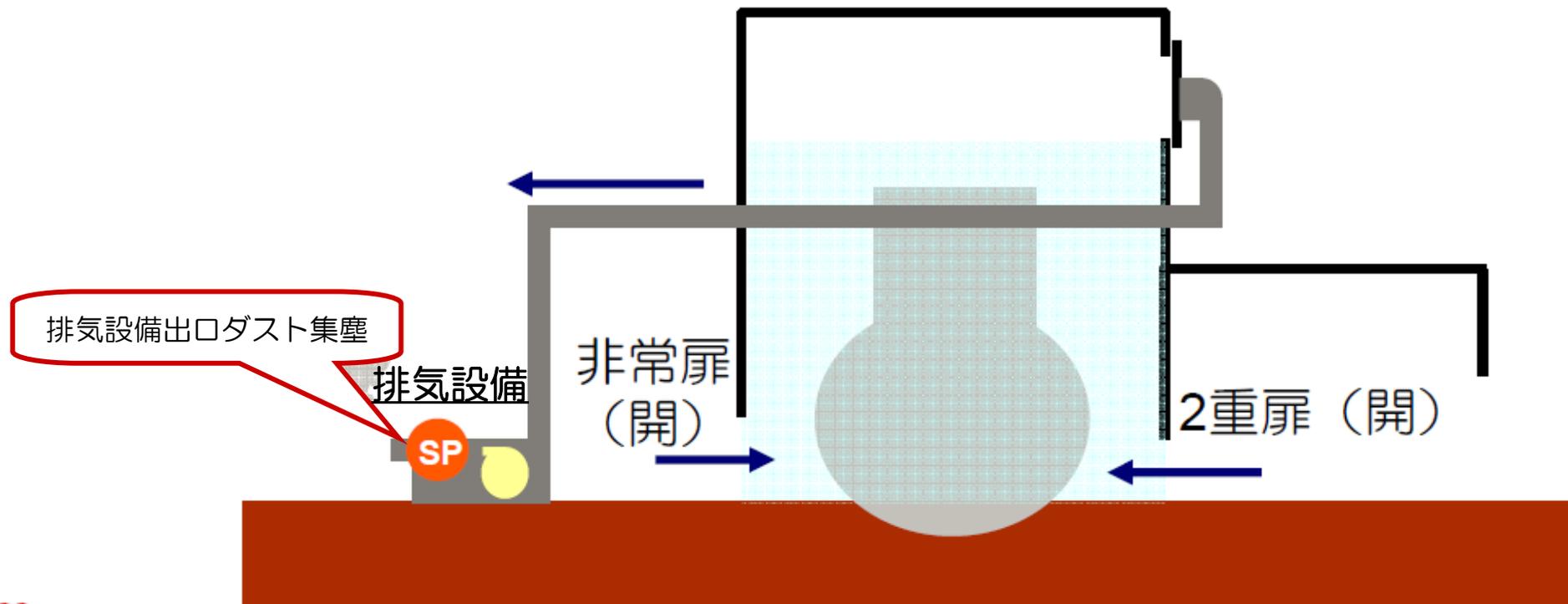
また、排気設備には、フィルタを設置し、放射性物質を除去して放出します。



○ 放射性物質の放出量管理について（排気設備運用開始後）

今後は、放射性物質の放出量管理として、以下を実施します。

- 排気設備出口側空気のダストの監視
- 毎月、排気設備出口ダストの集塵を実施し、放出量評価を実施



○ 今後のスケジュール

	平成25年3月		
	上旬	中旬	下旬
排気設備設置	3/7 		
ブローアウトパネル 閉止		3/11 	
排気設備調整運転	3/8 		
排気設備運用開始			

※作業の状況に応じ、変更する可能性有り